

矢部高校通信

文責：校長

矢部高校 × HONDA



9月に国際交通安全学会より特別表彰を受けた副賞として、HONDAとのコラボが実現しました。午前中は、講師による「これからモビリティについて」や電動スクーター開発責任者の思いや苦労について講演をいただき、午後からは、大津にあるHSR九州に場所を移し、グループワークやプロによる乗車練習を行いました。乗車姿勢や大型車、普通車からの死角についても確認するなど、交通社会への理解を深めました。

防災教育 避難所運営ラーニング

防災教育については、3種類の内容を3年間でローテーションしています。今年は「避難所運営ラーニング」でした。一度災害が起こると学校は避難所になることも多く、災害の多い熊本においては高校生の意識や協力が大きいと考えます。いざという時に行動できる基礎知識を身に付けてほしいと思います。



石橋作りワークショップ



地域からのボランティア要請に、林業学科で石工体験研修を受講した生徒たちが積極的に参加してくれました。自分たちが習ったことを今度は子どもたちに教えることになります。目線を合わせ丁寧に教えていました。このような伝統技術を伝承していくことが地域を支えていく原動力になると思います。

学校農業クラブ全国大会

昨年の全国大会は熊本で行われ、矢部高校もその運営に全力で取り組みました。今年は岩手県で実施され、平板測量競技や農業鑑定競技に生徒5人が参加しました。目標は日本一という意気込みで臨んでくれました。成果としては全員優秀賞という素晴らしい結果でした。旅費を心配しましたが、町民の皆様をはじめ多くの方々からの御支援をいただき無事に出場することができました。御協力ありがとうございました。



二輪車安全運転競技大会(福岡大会)



熊本県での大会がなくなりましたが、福岡の大会に参加させてもらうことができました。他の行事とも重なり、参加人数は少なかったのですが、見事1位に輝いてくれました。

公開授業

2日間の公開授業には、保護者・中学校の先生方など来校いただき授業の様子を見て行かれました。私も全クラスの授業を見て回りましたが、文化祭前もあり、音楽の授業では、発表曲の練習に力を入れていました。少人数ですが、のびのびとした授業展開が見られ矢部高校らしさが表れています。



農産物販売会



今年は2日間に分けて実施しますが、普段から愛情込めて育てた野菜、花苗、タマネギ苗などの農産物や課題研究で製造したベーグルやパウンドケーキ、クッキーなどが飛びように売っていました。

「県立高校あり方検討会」山都地区意見交換会



蘇陽高校と矢部高校の合併から十数年、再度、県立高校50校のあり方が議論されています。地域の意見を聞いたうえで方向性を決めていくということになるそうです。10月30日(水)に山都町でも行われ、行政や町民の方々、生徒や保護者、同窓会や本校職員など130人の参加がありました。これまでの他地域の意見交換会の中では最多の参加者となりました。この地域に必要な学校としての前向きな御意見が沢山だされたようです。日頃から山都町をどういう町にしたいのか、高校も含めて考えておく必要性を感じました。